

第 66 回徳島県高等学校総合体育大会陸上競技兼 秩父宮賜杯第 79 回全国高等学校陸上競技対校選手権 大会徳島県予選会・国体選手選考第二次予選会要項

主催主	催 援 管	徳島県高等学校体育連盟 徳島県教育委員会 徳島陸上競技協会 (一社)徳島新聞社 (公財)徳島県スポーツ協会 徳島県高等学校体育連盟陸上競技部
1 期 日		令和 8 年 6 月 4 日(木) 10:30 競技開始 6 月 5 日(金) 10:00 〃 6 月 6 日(土) 10:00 〃
2 会 場		鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアム 〒772-0047 徳島県鳴門市撫養町立岩字四枚 61 TEL.088-685-3131
3 競技規定		2026年度日本陸上競技連盟競技規則、並びに全国高等学校総合体育大会陸上競技規則による。
4 競技方法		男女別学校対抗とする。
5 引率・監督		(1) 引率責任者は、校長の認める当該校の教職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第 78 の 2 に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、徳島県高等学校体育連盟会長に事前に届け出る。 (2) 監督、コーチ等は、校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入し、その証明書(コピー可)を総体申込用紙に添付することを条件とする。
6 参加資格		(1) 出場者は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。 (2) 出場者は、徳島県高等学校体育連盟に加盟する学校の生徒であり、当該競技専門部に登録し、2026 年度徳島県陸上競技協会、全国高等学校体育連盟陸上競技部へ団体登録・個人登録している者に限る。〔日本陸上競技連盟(JAAF)の登録を完了している選手〕 (3) 出場者の年齢は、平成 19 年(2007)年 4 月 2 日以降に生まれた者であること。(4 月 2 日を起算日として満 19 才未満の者)ただし、出場は同一競技 3 回限りとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。また、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒についても同様とする。 (4) チームの編成については、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。 (5) 統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の 2 年間に限り当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。 <u>※陸上競技は部員不足に伴う複数校合同チームの対象外とする。</u> (6) 転校・転籍後 6 ヶ月以内(大会期日を起算)のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、徳島県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。 (7) 出場者はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。 (8) 上記以外については、本年度の全国高等学校陸上競技対校選手権大会・四国高等学校陸上競技対校選手権大会の要項に準ずる。 (9) 参加資格の特例 ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、徳島県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、大会参加資格の別途に定める規程に従い大会参加を認める。 イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技 3 回までとする。 【大会参加資格の別途に定める規定】 1 学校教育法第 72 条、115 条、124 条及び 134 条の学校に在籍し、徳島県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。 2 以下の条件を具備すること。 (1) 大会参加資格を認める条件 ア 徳島県高等学校体育連盟の活動の目的を理解し、それを尊重すること。 イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。 ウ 各学校にあっては、大会への出場条件が満たされていること。 エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失すること

となく、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

- ア 徳島県高等学校総合体育大会要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 大会参加に際しては、責任ある学校の教職員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

7 参加制限 1種目1校3名以内、リレーは1校1チーム6名以内とし、同一人は3種目以内(リレーを除く)の参加とする。

8 種目 [男子] (21種目)

100m・200m・400m・800m・1500m・5000m・110mハードル・400mハードル・3000mSC・5000m競歩・4×100mリレー・4×400mリレー・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投・八種競技

[女子] (20種目)

100m・200m・400m・800m・1500m・3000m・100mハードル・400mハードル・5000m競歩・4×100mリレー・4×400mリレー・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投・七種競技

9 表彰 男女とも総合優勝校には賞状と優勝旗(持ち回り)を、準優勝校・3位校には賞状を授与する。トラックの部・フィールドの部優勝校・準優勝校・3位校には賞状を授与する。個人優勝者には賞状とメダルを、2位・3位には賞状をそれぞれ授与する。

10 参加申込

- (1) 申込期日 令和8年5月18日(月)18時00分メール必着(書類は監督会議時に提出)
- (2) 申込場所 〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井21-11
徳島県立名西高等学校内 村山 佳史 宛
TEL(088)674-2151 FAX(088)674-8315
- (3) 申込書類 ア 出場選手一覧表(様式1)……………1部
イ 種目別参加申込書(様式2)……………1部
- (4) 申込方法 申込書類ア・イをメールで、また印刷したものに公印・監督印などを押印した書類の提出 [5月18日(月)18時00分メール必着。書類は監督会議時に提出]
※ ア・イとも参加校の監督が作成し、期日を厳守すること。
メール送付先 [tokujimunakata@yahoo.co.jp] (城東高校 鈴木)
期限をこえた場合は、原則として参加を認めない。
- (5) 参加申込後の棄権、参加取消しは、直ちに県高体連専門部に報告すること。
- (6) 申込書類は陸上競技専門部からメール送付する。(上記申込担当者まで連絡すること。)

11 開閉会式

- (1) 開会式 令和8年6月4日(木) 9時45分から陸上競技場で行う。
- (2) 閉会式 令和8年6月6日(土) 競技終了後に陸上競技場で行う。

12 監督会議

- (1) 令和8年5月21日(木) 14時00分～ 5月22日(金)14時～
(変更の場合は関係校に連絡します。)
徳島県立名西高等学校 会議室で行う。
- (2) 参加校の監督は必ず出席しなければならない。(派遣依頼状は郵送しない)メールで案内
- (3) 申込書類ア・イを提出すること。(印刷し、公印・監督印などを押印)

13 その他

- (1) アスリートビブスは各学校で作成し、ユニフォームに縫い付けること。腰ナンバーも同様に用意すること。【陸協登録番号で作成し、男子・女子ともわかりやすくすること】
- (2) 監督の引率がない学校の選手は、出場することができない。
- (3) 各学校より補助員を確実に出し大会運営に協力すること。(選手5名につき1人以上を原則とする)
- (4) 開会式での選手宣誓は、昨年度優勝校(男子)が行う。
- (5) 本大会で各種目6位までの入賞者に四国大会(四国高等学校陸上競技対校選手権大会)への出場権を与える。但し、男女競歩は5位、男女混成競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は4位入賞者とする。(男女走高跳・男子棒高跳は6名、女子棒高跳は4名とする)
- (6) 学校対抗の得点は、各種目とも1位を8点、2位は7点、以降8位は1点と計算する。八種競技と七種競技については、総合得点には加算するがトラックの部、フィールドの部それぞれの得点計算には加えない。
- (7) 競技中の疾病・傷害等については、応急処置はするがその後の責任は負わない。参加選手はマイナ保険証等、被保険者資格の確認ができるものを持参すること。
- (8) 男子5000mについては出場選手数が30名を超える場合、前日(第2日目)に予選を行う。
- (9) 全校加盟していない学校は、参加生徒1名につき1,300円(登録金800円と高体連部員負担金500円)を徳島県高等学校体育連盟事務局に納入すること。